

台湾の小学校における「芸術と人文」 教育課程の実践調査 その1 — 蘆洲小学校の例 —

上原 一明・陳 盈君*・福田 隆眞

A Research on the Implementation of “Art and Humanities” Curriculum
in Elementary School in Taiwan Part 1
- A case of Lujhou elementary school -

UEHARA Kazuaki, Chen Yiong-chug* and FUKUDA Takamasa

(Received August 6, 2009)

キーワード：台湾、小学校、芸術と人文、美術教育、教育課程

はじめに

本研究は筆者がすでに調査してきた台湾における美術教育の一環である¹⁾。本研究は教育課程の改訂による美術教育の実践の状況調査を主な目的としている²⁾。台湾における学校美術教育は、2004年から学習領域「芸術と人文」において実践されている。それは音楽、美術、パフォーマンス（表演）の内容を総合的に取り扱うものであるが、それぞれの分野を個別に扱うか、総合的に扱うかは学校裁量によって異なっている。本稿はそうした状況において総合的に扱っている小学校の教育課程の年間教育内容についての調査報告である。なお、本調査の報告は紙面の都合によりその1、その2の二部に分けて行う。

1. 台湾の小学校における「芸術と人文」

台湾では2002年の教育課程の改訂によって2004年より新しい教育が実践されている。美術教育は小学校においては、1,2学年が「生活」3~6学年が「芸術と人文」の学習領域の中で実践されている。「芸術と人文」は音楽、美術、パフォーマンスの3つの分野を総合的に扱うことも可能として、創造性の育成をはかるものである。

本研究での調査は、2008年12月10日に台湾の小学校を対象として調査した学校の一部である。蘆洲小学校は台北市近郊の台北県蘆洲市の市街地に位置する。市内には、他に忠義小学校や成功小学校などがあるが、3校の中では最も歴史が長い。1898年に創設された100年以上の歴史を有する伝統ある学校であり、多くの優秀な人材を輩出してきた。1975年からは学校をあげて縄跳び運動を推進し現在にいたる。

*台湾・台北県立蘆洲小学校教諭

蘆洲小学校では「芸術と人文」の学習の教育課程を鄭宜芳、林水源、王一琇、邱秀珠、黃素貞、楊紀莒、張可薇、李家菁、林葳、李宜昌、吳麗玲、莊筱秦、陳盈君、郭珍宜、魏靜芬、李佳良の計 15 名の教員が立案、実践している。本稿での教育課程の実践の紹介は、基の資料に従って日本語に訳して行う。学年によって項目等の表現に相違はあるが、基の資料の表記に従って記述する。

なお、蘆洲小学校では、次の言葉を教育目標としている。

- ① 尊重：学習者と受け答えの機会をつくり、自分を重視し他者の態度を尊重することを育成し、尊重の力を養う。
- ② 配慮：様々な環境において学習者を育成し、問題及び他者の要求に気を配り、一歩進んだ問題解決方法を追求する。
- ③ 喜悅：学習者に学習活動や創作活動を体験させ、成功する経験を蓄積し、自信を持たせ、楽しみを獲得させる。
- ④ 健康：学習者の美的経験を増加させ、芸術鑑賞の習慣を養い、心のバランスと調和がとれる健康な生活を達成させる。
- ⑤ 感謝：作品制作における学習者同士の協力を通して、助け合いの精神や感謝する習慣と態度を育成する。
- ⑥ 革新：学習者に対し異なる素材と形式による組み合わせによる創作の機会を増やし、斬新な思考と実践による創作の能力を奮い立たせる。

2. 芸術と人文の教育課程の事例：台北県蘆洲小学校

以下では、小学校における「芸術と人文」の教育課程の年間指導計画の具体的内容を紹介する。ここでは第 3 学年の内容を前期と後期に分けて紹介する。

民国 97 年度（2008 年）第 3 学年 前期 芸術と人文領域課程計画

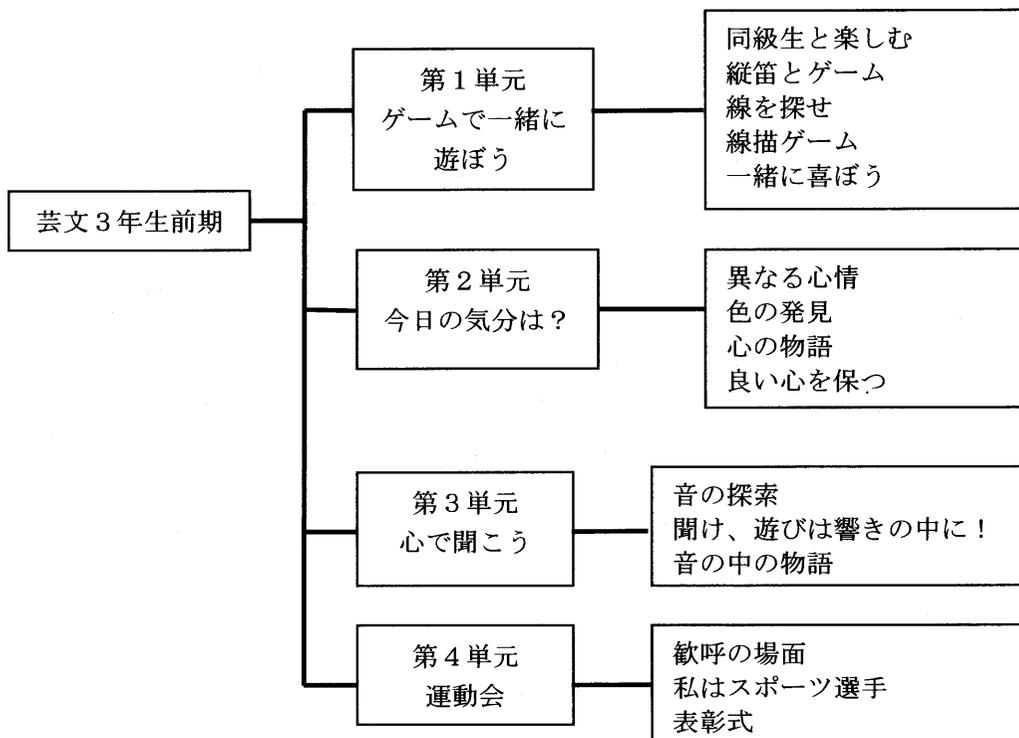
(1) 本領域は毎週 3 時間学習する。

(2) 学習総目標

- ① 線の遊びを元に線の種類を学び、生活の中における線の運用を発見する。
- ② 生活の中の色彩を発見し、色彩による創作をする。
- ③ 遊びを通して発声方法を理解し、子どもの発声をつくる。
- ④ 粘土を使ってスポーツ選手の動きをとらえる。
- ⑤ ♩、♪、 $\frac{4}{4}$ 、「ソ」と高音符号を理解し、縦笛の演奏方法を学ぶ。
- ⑥ $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、♩、♪、 $\frac{3}{4}$ 等たたくリズムの組み合わせや「ド、ミ、ソ」等楽譜を見ながら歌う方法、メロディーの組成などを理解し、曲の状況を経験する。
- ⑦ 二分音符「シ、ラ」音譜と縦笛の運指法、体を使った楽器表現、並びにタンバリンの使用法を理解する。
- ⑧ 高音「ド」を学び、縦笛で「シ、ラ」を演奏し、リズムに合わせてたたき創作する。
- ⑨ 人による体つきの違いを認識し、鏡を使ってポーズをつくる彫像ゲームを行う。
- ⑩ 観察力や身体表現を訓練し、育成する。

- ⑪ 身体を用いた伝達方法や音響を用いたストーリー性のあるモダンな原始人の活動を行う。
- ⑫ 音と動作の整合。観察力や身体表現、スポーツ選手の動作表現を訓練し育成する。

(3) 本学期課程構成図



(4) 本学期課程内容

第1単元 ゲームで一緒に遊ぼう

- 第1週 同級生と楽しむ(活動1) 歌を習って一緒にゲーム。
(活動2) 触感探索。
- 第2週 同級生と楽しむ(活動1) 鏡ゲーム。(活動2) 彫像ゲーム。
- 第3週 縦笛とゲーム(活動1) 縦笛演奏曲「愛の賛歌」鑑賞。
(活動2) 縦笛の演奏と縦笛の学習。
- 第4週 線を探せ(活動1) 線描の鑑賞。(活動2) 巨匠の線描。
- 第5週 線描ゲーム(活動1) エア作画。
一緒に喜ぼう(活動2) リズムをとり「みんな友達」を歌う。

第2単元 今日の気分は？

- 第6週 異なる心情(活動1) お面ゲーム。(活動2) とっても変化。
(活動3) 「森の小鳥」を歌い、曲調を見ながら歌う。
- 第7週 異なる心情(活動1) 曲調を聞き、演奏練習。(活動2) 縦笛の演奏と創作演奏。
(活動3) 「ホトトギスのワルツ」鑑賞。

第8週 色の発見（活動1）色の発見。（活動2）色を探せ。

第9週 心の物語（活動1）創作と鑑賞。

第10週 良い心を保つ（活動1）良い心を保つ。（活動2）私は何が出来る？

第3単元 心で聞こう

第11週 音の探索（活動1）音のゲーム。（活動2）「小さな風鈴」を歌う。

（活動3）二分音符と縦笛シ、ラ音の演奏。

第12週 音の探索（活動1）タンバリンを学び「青春舞曲」を鑑賞。（活動2）身体楽器の音。

（活動3）「小さなコマ」を歌う。

第13週 聞け、遊びは響きの中に！（活動1）音はどこから。（活動2）一緒に遊ぼう。

第14週 聞け、遊びは響きの中に！（活動1）遊びをやってみよう。

第15週 音の中の物語（活動1）モダンな原始人。（活動2）物語の音響。

第4単元 運動会

第16週 歓呼の場面（活動1）リズムをとり「がんばれの歌」を歌う。

（活動2）「チアガールの歌」を歌い、縦笛を演奏。

第17週 歓呼の場面（活動1）歓呼のリズムと創作。（活動2）音と動作。

第18週 私はスポーツ選手（活動1）スポーツ選手の観察と名作鑑賞。

（活動2）十項全能（何でも出来る能力）。（活動3）球の想像。

第19週 私はスポーツ選手（活動1）動いている人を作る（その1）。

（活動2）動いている人を作る（その2）。

第20週 表彰式（活動1）「茶色の小瓶」鑑賞。

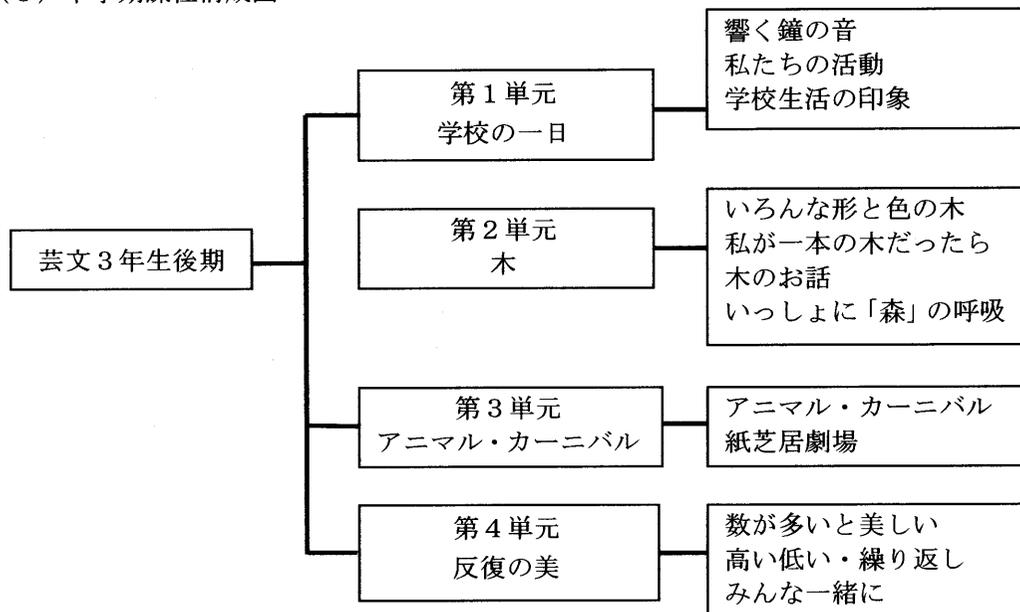
第3学年 後期 芸術と人文領域課程計画

（1）本領域は毎週3時間学習し、合計60時間とする。

（2）本学学期学習目標

- ① 視覚的構図方法を理解する。
- ② 水墨画遊びを通してその基礎技法を学ぶ。
- ③ 紙の使用方法和立体造形を組み合わせる。
- ④ 美的形式の原理原則の理解 — 反復と連続。
- ⑤ レ音、付点二分音符、縦笛ソ音の演奏を理解する。
- ⑥ ファ音、全音符を理解し、合唱曲を鑑賞する。
- ⑦ 高音 ド音、十六分音符を理解し、縦笛で高音 レ音を演奏する。
- ⑧ C大調音階、上行音、下行音及び楽曲の反覆形式を理解する。
- ⑨ 集中力、観察力、身体の発展と空間、音の変化を学習する。
- ⑩ 道具の製作及び組織能力を通して、身体の伸び、想像力の育成を学習する。
- ⑪ 紙芝居の演出を通して、模倣力及び想像力を育成する。
- ⑫ 身体のリズムの練習及び身体の伸展力と協調力を養う。

(3) 本学期課程構成図



(4) 本学期課程内容

第1単元 学校の日

- 第1週 響く鐘の音 (活動1) 「響く鐘の音」を歌う。(活動2) 付点二分音符を学ぶ。
 第2週 私たちの活動 (活動1) 学校生活の経験を喚起する。(活動2) リーダーは誰？
 (活動3) 誰がどこで何をやってるの？
 第3週 私たちの活動 (活動1) やまびこゲーム。(活動2) 町のあちこち。
 (活動3) 「おしゃべりポーカ―舞曲」の鑑賞。
 第4週 学校生活の印象 (活動1) 教科書内の作品構図説明。(活動2) 構図をみてみよう。
 第5週 学校生活の印象 (活動1) 構図をみてみよう。(活動2) 縦笛で高音の演奏。
 (活動3) 「さようなら」を歌う。

第2単元 木

- 第6週 いろいろな形と色の木 (活動1) 身の周りや学校の木の観察。
 (活動2) 水墨画遊びと技法紹介。
 第7週 いろいろな形と色の木 (活動1) 水墨画創作と共有。
 第8週 私が一本の木だったら (活動1) 植物の真似っこ。
 (活動2) 植物の気持ちになって。(活動3) 「風の舞」歌唱とリズム。
 第9週 木のお話 (活動1) 木のお話を演じる。(活動2) 老木のお話。
 第10週 評価する週 (活動1) 老木のお話。
 第11週 いっしょに「森」の呼吸 (活動1) 「森へ行こう」の鑑賞と歌唱。
 (活動2) 「楽しく歌おう」の歌唱。(活動3) 縦笛ソリティア―。

第3単元 アニマルカーニバル

- 第12週 アニマル・カーニバル (活動1) 管弦楽組曲「アニマル・カーニバル」の

- 鑑賞。(活動2)「兎と亀」歌唱とリズム。(活動3)縦笛で高音レの演奏。
- 第13週 アニマル・カーニバル(活動1)「子牛がない」の歌唱とリズム。
(活動2)動物の真似っこ。(活動3)動物を探せ。
- 第14週 紙芝居劇場(活動1)身近にある紙とその特徴。(活動2)紙を使った立体物。
- 第15週 紙芝居劇場(活動1)動物を作ってみよう。
- 第16週 紙芝居劇場(活動1)自分の「アニマル・カーニバル」をやってみよう。

第4単元 反復の美

- 第17週 数が多いと美しい(活動1)反復について鑑賞し、話し合う。
(活動2)反復の原理と一単位形の創作。(活動3)名作の鑑賞と討論。
(活動4)作品鑑賞と生活応用。
- 第18週 高い低い・繰り返し(活動1)歌の歌い方を学ぶ。
(活動2)メロディー創作と縦笛の演奏。
- 第19週 高い低い・繰り返し(活動1)ピアノ曲「アリスに捧ぐ」鑑賞。(活動2)「魚採りの歌」。
- 第20週 みんな一緒に(活動1)真似っこ。(活動2)ロボット大怪獣。

3. 第4学年 前期 芸術と人文領域課程計画

前章同様にここでは第4学年の内容を前期、後期に分けて紹介する。

- (1) 本領域は毎週計3時間、60時間学習する。
(2) 学習総目標

音楽：

- ① 音と身分の関係及び個人の声の特質を認識する。
- ② 「ド、ミ、ファ」の歌唱練習。
- ③ 「歌声は素晴らしい」の歌唱。
- ④ 「上記號」と「本位記号」の学習。
- ⑤ 手拍子でリズムを合わせ「歌声は素晴らしい」を歌唱。
- ⑥ 「歌声は素晴らしい」の編曲を通しリズムをとり、簡単な変奏形式を学ぶ。
- ⑦ 付点四分音符を知る。
- ⑧ 合奏、合唱、二重唱と二重奏など、不同形式の音楽を演奏する。
- ⑨ 「森の招待」の歌唱
- ⑩ たたくリズムの作品創作
- ⑪ 「ウィーンの森の物語」の鑑賞
- ⑫ 中国伝統音楽版と現代音楽版による「羅漢戲獅」の鑑賞。
- ⑬ 蛇踊の獅子舞をするグループの動作と、銅鑼と太鼓のチームのリズムの創作。
- ⑭ 「ピクニック」の歌唱練習。
- ⑮ 「おめでとう！」の歌唱。
- ⑯ G長調の声調記号と音階を知る。
- ⑰ スラーと連結線を知る。

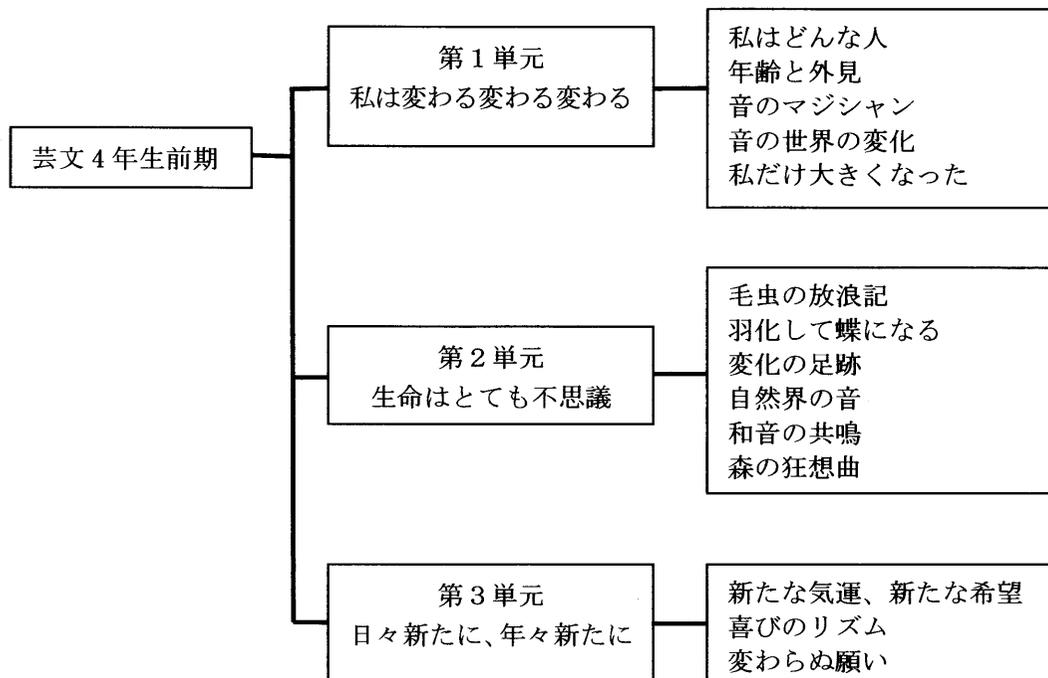
美術：

- ① 観察方法と自己鑑賞、他人の特徴を学習。
- ② 各種異なる材料を用いて自己表現する。
- ③ 絵の描き方と表現の特徴の学習。
- ④ 基本形を知る。
- ⑤ 内と外の変化を知り、学習する。
- ⑥ 生活の中の美を発見し、美感を育成する。
- ⑦ 観察と創作表現の学習。
- ⑧ 視覚芸術的観点からみえる蝶の鑑賞の学習。
- ⑨ 情感表現と創作の学習。
- ⑩ 視覚芸術的観点からみた体験の学習。
- ⑪ 空き缶を利用し、彩色、糊付け、表装し灯籠作品を作る。
- ⑫ 完成した灯籠の形状、材料、色彩を鑑賞しそれぞれ同級生と意見交換する。
- ⑬ 国内外の新年の活動と祝賀の様子を知る。
- ⑭ 新年の廟に不可欠な龍舞や獅子舞を理解する。
- ⑮ 簡単な龍舞や獅子舞の道具を作る。

演舞：

- ① 自分を知り、他人を尊重することを学ぶ。
- ② 視覚芸術的観点からみた体験学習。
- ③ 未来の様子を想像してみる。
- ④ いろいろな仕事の役割を想像してみる。
- ⑤ 未来の仕事を演じる。
- ⑥ 課程の活動を通して、観察と造形及び声に関係する職業、並びに身体表現を学ぶ。
- ⑦ 毛虫の生活環境を観察し想像する。
- ⑧ 指先、手のひら、体を使い毛虫の動作をする。
- ⑨ 毛虫が友達を訪ねる物語を演ずる。
- ⑩ 組別創作 — 毛虫の旅。
- ⑪ 「森の狂想曲」の鑑賞し、自然の音を想像する。
- ⑫ 体の動きや、楽器を使って昆虫や動物の鳴き声を作る。
- ⑬ 自然を尊重し保育する重要性を理解する。
- ⑭ 「森の狂想曲」の鑑賞。森の中の昆虫や動物の声を聞き、彼らの動作や声を真似する。
- ⑮ 各児童が自由に森の中の動物や植物、或いは風を選び、彼らの動作や声を演じる。
- ⑯ 組別創作 — 森の中のいろんなものの動作や声を演じる。
- ⑰ 自然の生態のなかのひとつひとつの生命の尊重を学習する。

(3) 本学期課程構図



(4) 本学期内容

第1単元 私は変わる変わる変わる

- 第1週 私はどんな人 (活動1) 探求と鑑賞—自分を知る。(活動2) 鑑賞と討論—五官の形状。
(活動3) 鑑賞と討論—アーティストの自画像。
- 第2週 年齢と外見 (活動1) 探索と討論—時間と外見の変化。(活動2) 探索と創作—ちっちゃなピカソ。
- 第3週 年齢と外見 (活動1) 探索と創作—みんな彫像。
- 第4週 音のマジシャン (活動1) 音は変わった? (活動2) 音の特色。
- 第5週 音のマジシャン (活動1) 「歌声はすばらしい」を演奏し歌唱する。(活動2) 昇記号と本位記号を知る。(活動3) 変奏歌曲。(活動4) 付点四分音符を知る。
- 第6週 音の世界の変化 (活動1) 音の用途。(活動2) みんなで楽しく歌う。
(活動3) 「歌声はすばらしい」と《ド、ミ、ファ》の合唱。
- 第7週 私だけ大きくなった (活動1) 探索と発見—社会の中の役割。(活動2) 私の未来は夢じゃない。(活動3) 探索と表現—声があり色のあるものを演じる。

第2単元 生命はとても不思議

- 第8週 毛虫の放浪記 (活動1) 観察と実作—毛虫を知る。(活動2) 毛虫の放浪記—体と音楽を結合する。
- 第9週 毛虫の放浪記 (活動1) 「森林大冒険」毛虫が帰ってきた。(活動2) さなぎを破って出てくる。(活動3) 成長の方式。(活動4) 毛虫の旅行。
- 第10週 羽化して蝶になる (活動1) 鑑賞と討論—蝶の観察。(活動2) 鑑賞と創作—対称と対比。

(活動3) 対称と対比の練習一蝶。

第11週 変化の足跡(活動1) 鑑賞と討論—大自然と四季の変化。

第12週 自然界の音(活動1) 「森林狂想曲」の鑑賞。(活動2) 模倣と運用。(活動3) 「ミュージカルの訓練」セリフとリズムを創作する。(活動4) 「森の招待」を演奏し歌唱。回転楽曲表現様式。

第13週 自然界の音(活動1) 初めは弱く叩く。(活動2) 「ウィーンの森の物語」の鑑賞。

第14週 和音の共鳴(活動1) 「ピクニック」を歌う。(活動2) G大調を知る。

第15週 森の狂想曲(活動1) 「森の狂想曲」を演じる。(活動2) 「動物園の旅行記」。

第16週 森の狂想曲(活動1) 森の大合唱。(活動2) 創作活動—「森の舞踏会」。

第3単元 日々新たに、年々新たに

第17週 新たな気運、新たな希望(活動1) 探索と発見—習俗を知る。

(活動2) 探索と実作—灯籠の制作。

第18週 喜びのリズム(活動1) 「おめでとう！」を歌う。(活動2) スラーと連結線を知る。

(活動3) 狂喜の太鼓を打ち鳴らす。(活動4) 「羅漢が獅子をからかう」の鑑賞。

第19週 喜びのリズム(活動1) 昨今の新年行事の音楽活動の比較。(活動2) 縦笛を学ぶ。

第20週 変わらぬ願い(活動1) 国内外の新年式典。(活動2) 龍舞・獅子舞を知る。

(活動3) 「龍舞・獅子舞」のビデオ鑑賞。(活動4) 獅子舞の練習。

第4学年 後期 芸術と人文領域課程計画

(1) 本領域は毎週3時間学習する

(2) 学習総目標

視覚芸術：

- ① 生活の中の事物、音、画面など美感と情感を感じることができる。
- ② 生活の中に現れるリズムや活力を捉え、創作と記録を通して表現することができる。
- ③ 線、色彩、情報の組合せを通してリズムと活力を表現し、個人のアイデアを背景に、独創性を持たせる。
- ④ 自然界を形成する造形、色彩から美の原則を理解する。
- ⑤ 児童の故郷に対する思いを引き出し、文化資源としての郷土芸術を深める。

音楽芸術：

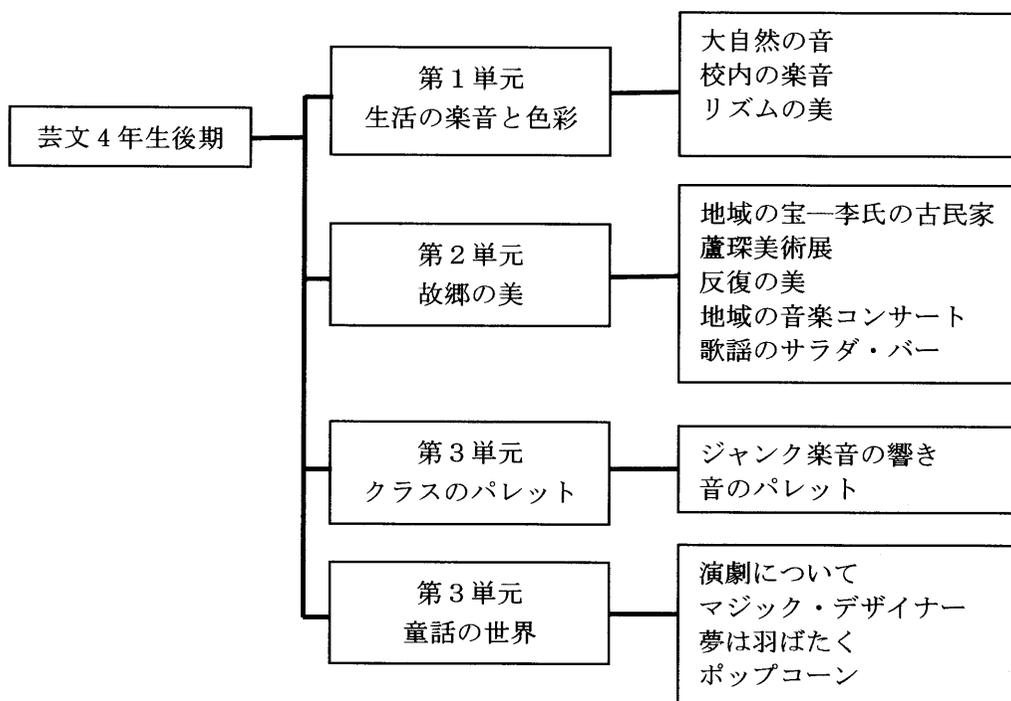
- ① 「Charlie Over the Ocean」を正しい音の高さで歌うことができる。
- ② 鼻歌で学校の鐘の音を歌い、曲名を言えることができる。
- ③ 三拍子のリズムで歌曲「ウェストミンスター寺院の鐘の音」と「盪秋千」を歌うことができる。
- ④ オペラ「天国と地獄」〈序曲〉と「アニマル・カーニバル」〈カメ〉を鑑賞することができる。
- ⑤ インディアンの歌謡、中国の歌謡、および日本の歌謡の中から同じ点や異なる点を探し、異なる民族群の文化を学び尊重することを育成する。
- ⑥ 楽曲による音色、スピードの変化の差異を体得することができる。
- ⑦ 声の調和がとれた優美さを体得することができる。

- ⑧ 縦笛の断音と持音の運用による高音の演奏ができる。
- ⑨ 「王老先生有塊地」をみんなで演奏することができる。
- ⑩ 自作の楽器を使った音色作りやリズム音響を学習することができる。
- ⑪ 同じ高さのメロディーの中で付点の違いを見分けることができる。
- ⑫ 自主的に地域の音楽芸術活動に参加できる。

パフォーマンス・アート：

- ① 各種メディア或いは方法を利用し、様々な童話のストーリーを表現することができる。
- ② 童話のストーリーを通して舞台の画面を創造することができる。
- ③ 舞台芸術を参観することにより、個人の自信と鑑賞の基本を養うことができる。
- ④ 身体の律動感を通して音楽の内包を感じることができる。

(4) 本領域本学期課程構成図



(6) 本学期内容

第1単元 生活の楽音と色彩

第1週 大自然の音（活動1）チャーリーは海を越えた。（活動2）観察と記録。

（活動3）美の表現。

第2,3週 校内の楽音（活動1）学校の鐘。（活動2）音楽とリズム。（活動3）三拍子を知る。

第4週 リズムの美（活動1）「天国と地獄」の紹介。歌劇の内容と「カンカン」の関係。（活動2）聞いた感じを踊ってみる。

第2単元 故郷の美

第5,6,7週 地域の宝—李の古民家(活動1)李氏古民家建築の特色。(活動2)建築の美。

(活動3)古民家の現代的意義を探る。蘆琛美術展

第8,9週 反復の美(活動1)鑑賞と体験—自然と人為芸術の美。(活動2)美の顕微鏡。

地域の音楽コンサート(活動1)地区の芸術文化センターを知る。(活動2)地域最大の音楽センター。

第10,11週 歌謡のサラダ・バー(活動1)昔の歌、新しい歌。(活動2)どこが違う？

(活動3)小さな作曲家。

第3単元 クラスのパレット

第12,13週 ジャンク楽音の響き(活動1)音楽って何？(活動2)やってみよう！

(活動3)ジャンク音楽会。

第14週 クラスの交響曲(活動1)導入活動。(活動2)縦笛演奏—持音、断音の練習。

(活動3)縦笛演奏—「ゆかいなまきば」。

第3単元 童話の世界

第15週 演劇について(活動1)童話と役の選択。

第16週 マジック・デザイナー(活動1)童話のストーリーを探せ。(活動2)童話と想像—具体的描写。(活動3)作ってみよう。(活動4)衣服を作ってみよう。

第17,18週 夢は羽ばたく(活動1)「夜鳴きウグイス」二声部曲調。(活動2)二部合唱「夜鳴きウグイス」。(活動3)歌曲「みつばち」の練習。(活動4)リズムを聞いて歌の練習。

第19,20週 ポップコーン(リズム)身体を通してリズムを経験する。(活動1)私のようにしてください。(活動2)団結は力なり。

(以下その2に続く)

注

- 1) 筆者の一人、福田はすでに以下のような調査について成果を公表している。
 - ・福田他：台湾における芸術と人文科目の美術分野の内容について，山口大学教育学部研究論叢，54巻，第3部，2004.
 - ・福田他：台湾における初等美術教育の教育課程と実践について，山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要，25号，2008.
- 2) 本研究は、平成20年度文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)一般 課題番号20530826「アジア地域における美術教育課程の実質化調査研究」によって実施した。